

緑の芝生に ホールめざして

5月30日(金) 伊達市パークゴルフ場

第3回町内会対抗パークゴルフ大会(6チーム) 赤橋、久保A、久保B、市柳3・4、宮城3、柏町

●団体の部

優勝 赤橋町内会
準優勝 久保町内会B
第3位 久保町内会A

●個人の部 以下敬称略

男子 1位 水上 薫
2位 伊藤 正義
3位 八巻 勝男
女子 1位 曳地千江子
2位 高橋 育子
3位 秋山あき子

●ホールインワン賞

佐瀬京子、齋藤徹雄



うたごえ喫茶

5月9日(金)・6月19日(木)



まちなか食堂

4月26日(土)・5月31日(土)



東吾妻山登山

6月6日(金)



町現代の名工 銅板加工 駒田南海雄氏

明 治四十一年、祖父が駒田ブリキ店として開業。父そして私が引継ぎ三代目。名人としてはまだまだ道半ばで、しいて言えば迷人の類です。

作業工程として、まず打ち出し工法。ハンマーで金属板を叩き伸ばしたり縮めたりして希望する形にする技術です。加工製品は恵比須大黒や不動明王、観音菩薩等人物ものです。材料は柔らかく加工しやすい銅板を使います。下絵を描き、その線を鑿で輪郭を付け、裏と表から数種類の金槌や鑿を使い、膨らませたり縮めたりして加工します。

次に絞り加工。擬宝珠や鈴は金属板を縮め丸い球体にする技術で

す。これらの工法は代々受け継がれ、保原町で百十六年の歴史があります。

ミニチュアの神社仏閣を作ろうと思った動機は、薬師寺東塔の模型を見て、銅や真鍮に置き換え作って見ようと思い始めました。卓上ボール盤やフライス盤、帯鋸盤、施盤等を準備し、製作には約七千個の部品が必要で、材料を求める大きさに切断しRに削り、穴を開け、それを一つ一つ作り諦めず根気よく組み立てていきます。完成時の喜びは格別です。

今四代目となる二人の跡継ぎが挑戦中です。自分で見て考え技術を更に成長させていって欲しいです。

【代表作】

①さざえ堂・②薬師寺西塔・③不動明立像・④西田敏行他



史跡巡り(国見町)

7月5日(土)



県防災センター見学

6月13日(金)



らくらくストレッチ

6月14日(土)

講師 水戸章様



町内名所旧跡を訪ねて

熊野神社 宮内町

古

くからの言い伝えによると、菊田家の祖先が、紀州から現在の地へ移った時、熊野の神を守護神として、この地に奉斎したという。また、欧州の乱（後三年の役）一〇八七年、源義家公が兵を集め小旗を立て、熊野の神を招き奉り戦勝を祈願した。乱の平定後、神徳を奉養し社を建立して祀ったとも伝えられる。地名はもと小旗であったのを、八幡太郎の幡を取り小幡としたと伝えられる。

元禄四年（一六九一）に総樺作りの本殿が再建され、元禄時代の御神



奥三台、御神鏡三面があることから当地方唯一の三所権現ともいわれる。回廊左右の袖に、宇都宮の彫師後藤源治の作といわれる見事な彫刻がある。また、なめらかな曲線を組み合わせた屋根の姿も見事である。

拝殿には伊達地方で最も貴重といわれる天保九年斎藤藤蔵奉納の和算扁額がある。難しい数学の問題に解答ができたとき、問題と解答を板額に記して神社仏閣に奉納するものである。

拝殿南側の鐘楼には江戸時代の小幡村の歴史を刻んだ梵鐘があつたが、戦時中供出させられた。貴重な記録を残せなかつたのは残念である。

熊野神社奉賛会

カメラを覗くと



保原高等女学校（昭和20年頃）現：交流館東駐車場



7丁目交差点（昭和40年頃）

お知らせ

■ サマーフェスティバル
（保原町商工会青年部主催）

期 日 8月11日(月)

会 場 陣屋通りと
チンチン電車広場

内 容 飲食店、ステージイベント
保原よいとこ、盆踊り

※例年4千人の来場者あり
ご来場をお待ちしております。

■ みんなのまちなか食堂へ
ご支援ありがとうございます。

● ふくしま未来研究会様

● パルシステム福島伊達センター様

● JAふくしま未来伊達地区様

● ゼスリイターナショナルジャパン株式会社様

● 梁川町鈴木様・国見町三栗野様

総務企画部会

5月23日(金)

編集委員

愛読される
編集をめざし
頑張ります。

齋藤 徹雄

川崎理恵子

小川 新

齋藤 一司

齋藤 信昭

